

平成 28 年度 認知症初期集中支援チーム 実績報告書

1. 相談支援対応

受付番号	ケース 1	ケース 2
受付日	平成 29 年 1 月 5 日	平成 29 年 2 月 21 日
性別	男性	女性
年齢	67 歳	81 歳
地区	原町区	鹿島区
家族構成	2 人世帯 (父親が介護施設入所中)	6 人世帯
相談者 (続柄等)	実姉	民生委員
主な介護者	実姉 (東京より定期的に訪問)	夫 (同居家族)
相談理由	・医療機関受診していない ・介護サービスを受けていない	・介護サービスを受けていない
介護認定の有無	有 (要介護 1)	有 (要介護 1)
認知症の診断の有無	無	有 (H27 年:レビー小体型)
利用中のサービス	配食弁当利用	無
支援経過	初回訪問 ↓ 緊急入院 ↓ 自宅退院、介護サービス調整 ↓ チーム員訪問 ↓ チーム員会議 (1 回目) ↓ モニタリング中 (H29.5 迄)	初回訪問 ↓ チーム員会議 ↓ チーム員支援中 ※介護サービス利用支援 家族の関わり方支援

レビー小体型認知症とは? (一般的な症状)

男性にやや多く、60~80 代に多い。幻視 (無いものが見える) パーキンソン症状 (小刻み歩行等) などが見られる。記憶障害は顕著でない。元気な状態と反応の少ない状態を行き来するような認知機能障害が見られる。

2. 会議

名称	開催日	開催場所	人数	内容
認知症初期集中支援推進会議	H28年 11月25日	南相馬市 原町区福祉会館	12名	・認知症サポート医委嘱状交付及び チーム員証交付 ・認知症初期集中支援チーム活動 マニュアル及び記録様式の確認
認知症初期集中支援チーム員会議	H29年 3月21日	南相馬市 原町区福祉会館	9名	・初回訪問後に開催（2ケース）

3. 研修

名称	開催日	開催場所	人数	内容
認知症初期集中支援チーム員研修	H28年7月9～ 10日（土・日）	東京都 ベルサール渋谷 ファースト	2名	・本事業実施に必要な知識 の習得

4. 普及啓発

名称	活動内容
チーム員の設置及び 認知症の相談窓口に関する普及啓発	①H28年 6月 3日 介護支援専門員研修 ②H28年 9月 3日 認知症サポーター養成講座（郵便局職員対象） ③H28年10月16日 認知症フォーラム ④H29年 2月10日 認知症サポーター養成講座（南相馬市職員対象）

平成29年度 認知症初期集中支援チーム 事業計画

【 事業計画 】

1 相談支援

- (1) 相談受付、初回訪問、チーム員会議までを速やかに実施し、早期支援ができる体制推進する。
- (2) 認知症初期集中支援チーム員研修を受講し対応可能な体制づくりを行う。
- (3) 認知症の人と家族の会とも連携し、認知症の方を介護されている方が相談に繋がりやすくなるような連携を図かる。

2 会議

(1) 認知症初期集中支援推進会議

- ・ 認知症サポート医 委嘱状交付 (こいずみクリニック 小泉祐功先生)
- ・ 今年度のチーム員活動について (H28年度/相談受理2件、相談対応2件)
- ・ チーム活動マニュアル及び様式の確認 (修正個所の確認)

(2) 認知症初期集中支援チーム員会議

- ・ 相談ケースの状況により調整

3 研修

(1) 認知症サポート医研修

人数: 1名 (予算確保分) 対象: 相馬郡医師会と調整

(2) 認知症初期集中支援チーム員研修

人数: 2名 (予算確保分) 対象: 各地域包括支援センター職員より調整

4 普及啓発活動

(1) 認知症初期集中支援チームリーフレット配布及び相談窓口の説明

- ⇒ 認知症サポーター養成講座 (出前講座)
認知症に関する講演会 (関係団体と共催)
認知症の人と家族の会主催事業 (相談会・つどい・オレンジカフェ)
南相馬市地域包括支援センターの相談支援活動等

(2) 認知症に関する普及啓発

- 世界アルツハイマーデーに合わせて、9月頃に集中的に実施
⇒ 「広報みなみそうま」に特集記事掲載
(認知症に関する正しい知識、早期発見のポイント、予防、相談窓口等)